

HOT PEOPLE

3 日本ウェルネス高校 スケートボード部

今年4月の日本ウェルネス高校開校と同時にスケートボード部もスタートし、現在2名の部員が活動しています。

茨城町から通っている藤枝あずみさんは「目標は全国の大会で入賞すること」、小美玉市から来ている羽持結月さんは「目標はプロになること」と話してくれました。

二人とも、滑るときの真剣な表情と、入念に技のイメージをチェックしている姿が印象的でした。



(写真左から) 藤枝さん、羽持さん

1 循環型社会形成推進への 貢献が評価されました

4/21

南小泉子供会が、茨城県集団回収優良団体表彰の、茨城県県民生活環境部長奨励賞を受賞しました。

地域での積極的な資源物分別回収の取り組みなどが評価されました。



(写真左から) 南小泉子供会の市原さん、山口市長、同会の倉持さん

4 笠間高校で初の東京藝大入学 笠間市に絵を寄贈

5/20

令和4年3月に笠間高校を卒業した岡田竜之助さんが東京藝術大学美術学部絵画油絵専攻に入学されました。

同大学への合格は、笠間高校113年の歴史で初の快挙とのことです。

岡田さんは「小さい頃から絵を描いてきた。これからも創作し続けたい」と将来の目標を話してくれました。

岡田さんから寄贈いただいた絵画を市役所本所に飾っていますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

※岡田さんの初の作品展を7月26日まで笠間図書館で開催中です。



(写真左) 岡田さん

2 県高校陸上で後藤凜那選手が 2冠達成

5/18~21

水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園陸上競技場）で開催された「茨城県高等学校陸上競技対抗選手権大会」で、友部中出身の後藤凜那さん（茨城キリスト高3年）が、1500mと3000mをいずれも自己新記録で優勝。見事に2冠を達成しました。

後藤さんは将来を有望視され、2019年に行われた市の中学生エチオピア派遣事業にも参加。高校進学後は、全国高校駅伝（2年連続）や県代表として全国都道府県女子駅伝（今年1月）に出場しました。

今回は初めての個人タイトル獲得となりました。



エチオピア派遣時の様子（左から2番目が後藤さん）

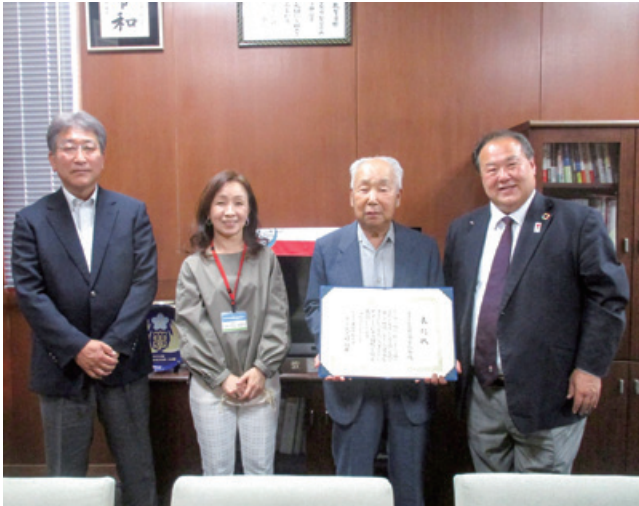
7 青少年育成岩間地区市民の会が教育功績者賞を受賞

5/30

青少年育成岩間地区市民の会が、一般社団法人茨城県教育会から「令和3年度教育功績者賞」を受賞し、5月30日に小沼教育長に報告しました。

今回の表彰では、地域に生きる子どもたちの健全育成に取り組まれてきたことが評価されました。

常井会長は「今後、他団体と連携しながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成に取り組んでいきたい」と話していました。



(写真左から) 青少年育成岩間地区市民の会 荒井副会長、川上広報部会長、常井会長、小沼教育長

8 条例制定に喜び

5/27

「笠間市障がい者等の情報取得およびコミュニケーション環境の向上に関する条例」が4月1日から施行されています。

笠間市聴覚障害者協会と笠間市身体障害者福祉協会の皆さんが市長のもとを訪れ、条例制定の喜びを話しました。

また、手話通訳の細川さんと、今年度導入した「みえる通訳」を介した山口市長、市聴覚障害者協会 増子会長の意見交換も行われました。



笠間市聴覚障害者協会と笠間市身体障害者福祉協会の皆さん

5 勇気ある行動と消防活動への貢献に感謝

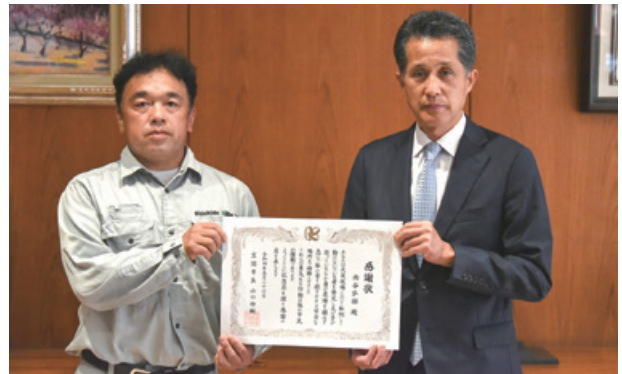
5/26

3月に南小泉地内で火災が発生した際、協力いただいた宍戸ヒルズカントリークラブと職員に対し、消防協力者として山口市長から感謝状が授与されました。

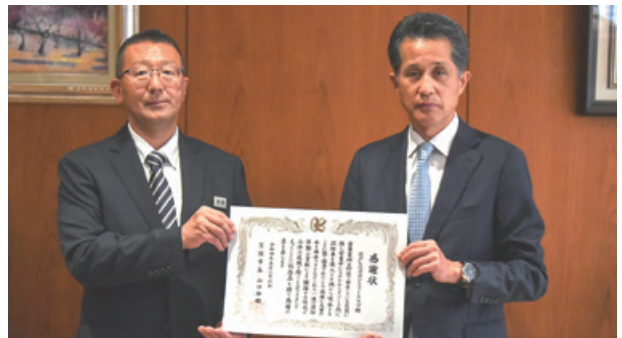
宍戸ヒルズカントリークラブ職員の雨谷弘昭^{あまがひひろあき}さんは、火災現場で転倒して動けない方を発見。抱きかかえて安全な場所まで避難させました。

また、宍戸ヒルズカントリークラブは、火災対応中の消防隊からの要請に対し、営業中にもかかわらずコース内の池から消防車が取水することに協力。

火災時の迅速な対応と勇気ある行動、そして消防活動に多大な貢献をいただいたことに感謝します。



(写真左) 雨谷さん



(写真左) 宍戸ヒルズカントリークラブ 草野総支配人

6 教育委員を紹介します

6/24

令和4年第2回笠間市議会定例会で、鳥羽田信^{とりはた しのぶ}さん(再任)を教育委員に任命する議案が議会の同意を得られ、鳥羽田さんが6月24日付で就任しました。

教育委員会は、教育長と教育委員の構成による合議制の執行機関です。主に、学校や教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ、文化財など、教育に関する事務を管理執行しています。



鳥羽田委員